

SETAGAYA CITY 世田谷区 基本計画

資料編

2024 ▶ 2031

資料編

1 策定経過

	区議会	基本計画審議会	区民参加の取組み等
令和4年(2022年)5月	常任委員会報告(5/25)		
6月	令和4年第2回定例会		
7月	常任委員会報告(7/5) 常任委員会報告(7/27)		第1回区民検討会議
8月			第2回区民検討会議 第3回区民検討会議
9月	常任委員会報告(9/2) 令和4年第3回定例会 常任委員会報告(9/26)	第1回基本計画審議会(諮問)	
10月		第2回基本計画審議会	
11月	常任委員会報告(11/10) 令和4年第4回定例会	第3回基本計画審議会	
12月	常任委員会報告(12/1) 常任委員会報告(12/19)	第4回基本計画審議会	ステークホルダー意見集約
令和5年(2023年)1月		第5回基本計画審議会	
2月	常任委員会報告(2/6) 令和5年第1回定例会 常任委員会報告(2/24)	第6回基本計画審議会	
3月	常任委員会報告(3/23)	第7回基本計画審議会 第8回基本計画審議会(答申)	
4月			
5月	常任委員会報告(5/29、5/30)		
	基本計画(骨子)の公表		
6月	令和5年第2回定例会		区民ワークショップ シンポジウム 区民意見募集 Decidimを活用した意見交換 子ども向けアンケート調査 子ども向けリーフレット配布
7月			
8月			
	常任委員会報告(9/5、9/6)		
	基本計画(素案)の公表		
9月	令和5年第3回定例会		パブリックコメント Decidimを活用した意見交換 子ども向けリーフレット配布
10月			
11月	常任委員会報告(11/14、11/15) 令和5年第4回定例会		アドバイザー会議
12月			
令和6年(2024年)1月			
	常任委員会報告(2/5、2/6)		
2月	基本計画(案)の公表		
	令和6年第1回定例会		
3月			



2 世田谷区基本計画審議会

世田谷区基本計画審議会委員名簿（敬称略／令和5年（2023年）3月現在）

◎：会長 ○：副会長

	あおやぎ 青柳	まさのり 正規	東京大学名誉教授
	えはら 江原	ゆみこ 由美子	東京都立大学名誉教授
◎	おおすぎ 大杉	さとる 覚	東京都立大学法学部教授
	こばやし 小林	ひかる 光	東京大学先端科学技術研究センター研究顧問
	しおみ 汐見	としゆき 稔幸	東京大学名誉教授
○	すずき 鈴木	ひでひろ 秀洋	日本大学危機管理学部准教授
	なかむら 中村	しゅういち 秀一	医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
	ながやま 長山	むねひろ 宗広	駒澤大学経済学部教授
	もりた 森田	あけみ 明美	東洋大学名誉教授
	わくい 涌井	しろう 史郎	東京都市大学特別教授
	あんどう 安藤	たけし 毅	区民検討会議代表
	おなか 尾中	としゆき 俊之	区民検討会議代表
	さえき 佐伯	れいか 怜華	区民検討会議代表
	しもかわ 下川	ななこ 七菜子	区民検討会議代表
	はけた 羽毛田	こうすけ 恒祐	区民検討会議代表

審議経過

	開催日	議 題
第1回	令和4年(2022年) 9月8日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長・副会長の選出 2. 諮問 3. 世田谷区基本計画審議会の運営について 4. 基本計画大綱の構成について 5. 基本計画策定の考え方について 6. 世田谷区の現況について 7. 区民検討会議の結果について
第2回	令和4年(2022年) 10月20日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本計画の取組みの整理について 2. 若手職員の考える未来の世田谷区について 3. 意見交換(目指すべき将来像、基本的な考え方・コンセプトについて)
第3回	令和4年(2022年) 11月17日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意見交換(目指すべき将来像、基本的な考え方・コンセプト、重点的に取り組むべき課題) 2. 報告事項
第4回	令和4年(2022年) 12月8日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意見交換(コンセプト(計画全体を貫く基本的な考え方)) 2. 意見交換(基本方針(目指すべき将来像)) 3. 意見交換(将来像の実現に向け分野横断的に重点的に取り組むべき課題) 4. 意見交換(計画推進にあたって重視すべき考え方など)
第5回	令和5年(2023年) 1月16日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ別意見交換① 【子ども・若者が笑顔で過ごせるために必要な取組みについて】 2. テーマ別意見交換② 【目指すべきコミュニティと安心して住み続けるために必要な支援について】 3. テーマ別意見交換③ 【世田谷を安全で一層魅力的なまちにするために必要な政策について】
第6回	令和5年(2023年) 2月6日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本計画大綱(たたき台)について
第7回	令和5年(2023年) 3年14日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本計画大綱(案)について
第8回	令和5年(2023年) 3月29日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本計画大綱について 2. 答申



3 区民参加の取組み

意見交換会等

① 区民検討会議

● 会場

世田谷区立教育総合センター 研修室2・3・4 ※会場とオンラインの同時開催

● 開催日、テーマ及び参加人数

実施回	開催日	テーマ	参加人数
第1回	令和4年(2022年)7月23日(土)	▶世田谷区の好きなおところ ▶世田谷区のキャッチフレーズを考えよう	39人
第2回	令和4年(2022年)8月6日(土)	▶世田谷区の大事にしたいこと、もの足りないところ ▶10年後、こんな世田谷区になってほしい!	33人
第3回	令和4年(2022年)8月20日(土)	▶将来像の実現に向けて、私たち(区民や地域)ができること ▶区民が一層区政に参加しやすい仕組み~将来像の実現に向けて~	38人

第3回区民検討会議で出された意見のまとめ【グラフィックレコーディング】

② 次期基本計画策定に向けた区民ワークショップ

● 会 場

世田谷区立教育総合センター 研修室2・3

※会場とオンラインの同時開催

● 開催日及び参加人数

開催日	参加人数
令和5年(2023年)6月3日(土)	39人

● テーマ及び意見交換の内容

テーマ	意見交換の内容
①子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備 ②新たな学校教育と生涯を通じた学びの充実 ③多様な人が出会い、支え合い、活動できるコミュニティの醸成 ④誰もが取り残されることがなく生き生きと暮らせるための支援の強化 ⑤脱炭素社会の構築と自然との共生 ⑥安全で魅力的な街づくりと産業連関による新たな価値の創出	▶各テーマにおける目指すべき具体的な将来像 ▶将来像の実現に向けて必要となる取組み

③ 次期基本計画策定に向けたシンポジウム

● 会 場

世田谷区立教育総合センター 研修室1

● 開催日、テーマ及び参加人数

開催日	テーマ	参加人数
令和5年(2023年)6月17日(土)	▶世田谷区基本計画大綱に込めた思い ▶持続可能な世田谷の未来	57人

● パネリスト(令和5年(2023年)6月現在)

大 杉 覚	東京都立大学法学部教授、世田谷区基本計画審議会会長
江 原 由美子	東京都立大学名誉教授
小 林 光	東京大学先端科学技術研究センター研究顧問
中 村 秀 一	医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
森 田 明 美	東洋大学名誉教授
下 川 七菜子	世田谷区基本計画審議会委員(区民検討会議代表)

④ 次期基本計画アドバイザー会議

● 会 場

世田谷区立教育総合センター 研修室1



● 開催日及びテーマ

開催日	テーマ
令和5年(2023年) 11月9日(木)	①子ども・若者政策について ②経済・産業政策について ③環境政策について その他:計画全般への意見について

● 出席者(令和5年(2023年)11月現在)

大 杉 覚	東京都立大学法学部教授
小 林 光	東京大学先端科学技術研究センター研究顧問
鈴 木 秀 洋	日本大学危機管理学部教授
長 山 宗 広	駒澤大学経済学部教授
安 藤 毅	世田谷区基本計画審議会委員(区民検討会議代表)
尾 中 俊 之	世田谷区基本計画審議会委員(区民検討会議代表)
下 川 七 菜 子	世田谷区基本計画審議会委員(区民検討会議代表)
羽毛田 恒 祐	世田谷区基本計画審議会委員(区民検討会議代表)

意見募集等

① ステークホルダー意見集約

● 意見募集期間

令和4年(2022年)12月6日(火)～令和5年(2023年)1月31日(火)

● 意見提出団体数

42団体

② 計画(骨子)に対する区民意見募集

● 募集期間

令和5年(2023年)6月1日(木)～6月22日(木)

● 意見提出人数及び件数

11人(45件)

③ 計画(素案)に対するパブリックコメント

● 募集期間

令和5年(2023年)9月15日(金)～10月6日(金)

● 意見提出人数及び件数

77人(210件)

④ 子ども向けアンケート調査

● 調査期間

小学生:令和5年(2023年)6月9日(金)～6月30日(金)

中学生:令和5年(2023年)6月5日(月)～6月26日(月)

高校生:令和5年(2023年)6月8日(木)～6月30日(金)

● 対象及び回答数

	小学生	中学生	高校生
調査対象	全区立小学校5年生	全区立中学校2年生	区内在住高校生
回答数	4,488件	2,069件	283件

⑤ 子ども向けリーフレット(啓発用)の配布

● リーフレットの内容

①計画(骨子)

②計画(素案)

● 配布期間

①令和5年(2023年)6月13日(火)～7月7日(金)

②令和5年(2023年)9月15日(金)～10月6日(金)

● 配布場所

区立小学校、区立中学校、児童館、青少年交流センター

● リーフレットに対する子どもからの意見の提出人数及び件数

①0人(0件)

②4人(4件)

⑥ デジタルプラットフォーム(Decidim)を活用した区民意見交換

● 意見交換の内容

①計画(骨子)における重点政策について

②計画(素案)における分野別政策について

● 意見交換期間

①令和5年(2023年)6月1日(木)～7月7日(金)

②令和5年(2023年)9月15日(金)～10月6日(金)

● 投稿人数(投稿件数)

①29人(66件)

②5人(6件)



4 用語解説

用語	用語解説
あ行	
ICT	Information and Communications Technologyの略。情報や通信に関する技術。
アジャイル型組織	機動的でスピード感に優れた組織。ソフトウェア開発で用いられていたアジャイル開発（開発工程を機能単位の小さなサイクルで繰り返し、状況の変化に応じながら開発を進めていく手法）の概念を、組織全体に適応させた考え方。
あんしんすこやかセンター	世田谷区における地域包括支援センターの名称。高齢者に関する様々な相談を受ける「総合相談・支援」、介護予防事業を推進する「介護予防ケアマネジメント」、ケアマネジャーや医療機関等と連携し、支援する「包括的・継続的ケアマネジメント」、高齢者虐待や消費者被害の防止、成年後見制度の利用支援を行う「権利擁護」の4つの機能を持つ。
生きづらさを抱えた若者	学校生活や就労時の体験、対人関係でのつまづきなどを起因として、社会生活や他者との関わりがうまくいかず、目指す生き方に向かって進めない、または、目指す方向が分からないために悩んでいる若者。
EC	Electronic Commerceの略。電子商取引。
イノベーション	刷新。革新。新機軸。
EBPM (証拠に基づく政策立案)	Evidence Based Policy Makingの略。統計や業務データなどの客観的な証拠に基づく政策立案のこと。
EV	Electric Vehicleの略。電気自動車。
インクルーシブ教育	1994年に採択された「サラマンカ宣言」により、子どもが何らかの困難さもしくは相違を持っていようと、学校が様々な学習スタイルや学習の速さについて調整をしながら、適切なカリキュラムと編成上の調整、指導方略、資源の活用、地域社会との協力を通じ、すべての子どもに対し質の高い教育を保障しながら、子どもの多様なニーズを認識し、それに応じる教育。
インセンティブ	目標への意欲を高める刺激。
エシカル消費	倫理的消費。環境や社会に配慮した工程・流通で製造されているかの視点で行う消費行動。
ACP	Advance Care Planning(人生会議)の略。もしもの時に自分が受けたい治療やケアを医療・介護関係者や信頼できる家族やパートナーなどの身近な人と繰り返し話し合うこと。
SNS	Social Networking Serviceの略。人と人との社会的なつながりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス。
エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業者・地権者等による主体的な取組みのこと。
LGBTQ	レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)、クエスチョニング(性のあり方をあえて決めないまたは決められない人)またはクイア(多様な性を包括する言葉)の頭文字をとった言葉。
延焼遮断帯	地震に伴う市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川、鉄道、公園等の都市施設及びこれらと近接する耐火建築物等により構成される帯状の不燃空間。
OECD	Organisation for Economic Co-operation and Development(経済協力開発機構)の略。ヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め38ヶ国の先進国が加盟する国際機関。
オープンデータ	機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで広く公開されたデータ。

用語	用語解説
か行	
外国人	日本においては、日本国籍を有しない者を意味する。ただし、基本計画においては、外国人に関する「多様性の尊重」について、国籍だけではなく、多様な文化(言語・生活習慣・宗教等)を持つ人々を含むものとし、この人々を含めて「外国人」と表記する。
カリキュラム・マネジメント	各学校において、児童・生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。
キャリア・パスポート	小学校から高校までのキャリア教育にかかわる活動について、学びのプロセスを児童・生徒自身で記述し、蓄積して振り返ることができる記録。
キャリア・未来デザイン教育	子どもたち一人ひとりが社会の担い手として、自ら積極的に課題に向き合い判断して行動し、それぞれが思い描く未来を実現するための教育。
共助	被災時には、個人の力では解決が困難な様々な課題も発生する。こうした課題に対応するため、事業者、NPOやボランティアなどと連携しながら、地域が持っている力を生かして、住民主体のお互いを支え合う活動。
クラウドサービス	コンピューティング、データベース、ストレージ、アプリケーションをはじめとした、さまざまなIT資源をネットワーク経由で必要に応じて利用することができるサービスの総称。
グリーンインフラ	自然環境が持つ様々な機能を目的に応じて積極的かつ有効に活用することで、安全で快適な都市の環境を守り、街の魅力を高める社会基盤や考え方のこと。
ゲートキーパー	自分や家族、友人など身近な方からだやこころのストレスサインに早めに気づき、必要時、相談窓口に橋渡しを行い、「生きることを支援する」役割の人。
コミュニティビジネス	地域の課題を地域住民が主体的にビジネスの手法を用いて解決する取り組み。
コレクティブインパクト	様々な主体(行政、企業、NPO等)が共通のゴールを掲げ、互いの強みを出し合いながら社会課題の解決を目指すアプローチ。
さ行	
再生可能エネルギー	エネルギー源として持続的に利用することができる再生可能エネルギー源を利用することにより生じるエネルギーの総称。具体的には、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどをエネルギー源として利用すること。
サービスデザイン	利用者視点で満足度を高めるためにサービスを改善していくとともに、継続的に提供できる仕組みや組織をデザインして、新たな価値を創出すること。
ジェンダーアイデンティティ	自己の属する性別についての認識に関するその同一性の有無または程度にかかる意識。
自助	復興を進めるためには、被災者が生活の変化にうまく適用しなければならず、そのためにまず被災者自らが立ち上がる活動。
持続可能な開発目標(SDGs)	Sustainable Development Goalsの略。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成される。
実質赤字比率	地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。
実質公債費比率	地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。
自転車ナビマーク	警視庁が導入した、自転車の通行すべき部分と進行すべき方向を示した路面表示。
シナジー効果	相乗作用によるプラスの効果。
将来負担比率	地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。
職住近接	職場と家庭生活を営む住居が近接していること。住んでいるところで働くことができれば、遠近問わず通勤が困難な人が働くことができるとともに、多様な働き方が可能になり自分の住むまちにかかわりを持つことが増える。



用語	用語解説
新BOP学童クラブ	区では子どもの健全な育成や子育て家庭の支援を目的とし、学童クラブ(学童保育)とBOP(放課後子供教室)とを統合した「新BOP事業」を全区立小学校校内で実施しており、放課後の自由な遊び場である「BOP」と放課後に児童の保護・育成を行う「新BOP学童クラブ」を一体的に運営している。
スクールソーシャルワーカー	福祉分野に関する専門的な知識や技術を用いて、家庭や福祉関係施設など関係機関と連携しながら、児童・生徒を取り巻く環境に働きかけて支援を行う福祉の専門職。
STEAM教育	Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の5つの教育分野を表す単語の頭文字をとったもので、教科横断的な教育のこと。
生成AI	様々な学習した内容から、コンテンツを「生成」するAI。従来のAIが決められた行為の自動化をすることが得意であったのに対し、生成AIは学習した情報、データを組み合わせ、文章等を「新しく作る」ことができる点が特徴。
性的指向	人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指す。
性的マイノリティ	「性的少数者」「セクシュアル・マイノリティ」とも表現される。「からだの性」と「自認する性」が異なる人や、「好きになる性」が同性である人など、多数派とは違う性のあり方を持つ人々、全てを含んだ言葉。
世田谷版ネウボラ	妊娠期から就学前までの切れ目ない支援を行うことを目的として、区・医療・地域が連携し、全ての妊産婦や乳幼児を育てる家庭に寄り添い相談支援を行う、顔の見えるネットワーク体制。
ZEH	Net Zero Energy Houseの略。高い断熱性能と高効率設備により、室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより、年間の一次エネルギー消費量をゼロとすることを目指した住宅。
ZEB	Net Zero Energy Buildingの略。室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギー化を実現した上で、エネルギー自立度を極力高め、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。
ZEV	Zero Emission Vehicleの略。走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車(EV)等。なお、東京都は電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)をZEVに位置づけている。
ソーシャルビジネス	地域社会の課題解決に向けて、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むこと。
た行	
代替養育	保護者のない子どもまたは保護者に監護させることが不相当であると認められる子どもを、里親等に委託し、または施設に入所させて養育すること。
地域共生社会	制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。
地域行政制度	地域住民に密着した地域行政を展開するため、全国に先駆けた都市内分権として、平成3年(1991年)にスタートした制度。地区(出張所・まちづくりセンター)、地域(総合支所)、全区(本庁)の三層分権型を確立した、世田谷区独自の行政制度。
地域デイサービス	地域の住民やNPO法人が運営する、週1回、3時間程度のミニデイ形式の定期的な「通いの場」で、食事と介護予防を目的とした体操やレクリエーションなどの活動を行う。
地下水涵養	雨水や河川水などが地下に浸透して帯水層に水が供給されること。なお、帯水層とは、地下水を蓄えている地層であり、通常は粘土などの不透水層(水が流れにくい地層)にはさまれた、砂や礫(れき)からなる多孔質浸透性の地層(空隙が多く水の流れやすい地層)のこと。

用語	用語解説
地区アセスメント	各地区ごとにまちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会地区事務局及び児童館等が、地区の社会資源等、住民ニーズ、生活課題等を広く把握・分析し、抽出した地区課題への対応について、地区情報連絡会等において、区民・関係機関等と共有するため作成するもの。
地産地消	地域で生産されたものをその地域で消費すること。
宙水	比較的浅い地層中に存在する地下水の分布形態。区内の特徴的な地下水のあり方。
DX	Digital Transformationの略。将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して組織・業務モデルの柔軟な改変・新たな創出をすること。
デートDV	親密な交際関係にある相手との間で起きる暴力。
統合型校務支援システム	教務系(成績処理、出欠管理、時数管理等)・保健系(健康診断票、保健室来室管理等)、学籍系(指導要録等)、学校事務系などを統合した機能を有しているシステムであり、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステム。
特定健診	特定健康診査のこと。糖尿病等の生活習慣病の予防の目的で、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の状態を早期に見つけるため各医療保険者に義務づけられた健康診査。40歳以上74歳以下の被保険者及びその被扶養者を対象に行われる。
な行	
ネットリテラシー	インターネットを適切に活用するために必要な知識や能力。
は行	
8050問題	80歳代の親と50歳代の子の組み合わせによる生活問題。高齢者である親が、ひきこもり状態などにある単身・無職の子を支えている家庭で、背景には家族や本人の病気、親の介護、離職、経済的困窮や人間関係の孤立など複合的課題を抱え、地域からの孤立の長期化など社会的な課題として顕在化している。
バックカasting	あるべき未来の姿から逆算して現在やるべきことを構築する視点。
パンデミック	感染症の世界的大流行。
PISA調査	義務教育修了段階(15歳)を対象にOECD(経済協力開発機構)より、2000年から3年ごとに実施されている国際的な学力調査のこと。
PDCAサイクル	Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)という一連の過程を繰り返し、業務を継続的に改善する手法。
ヒートアイランド	都市域において、人工物の増加、地表面のコンクリートやアスファルトによる被覆の増加、それに伴う自然的な土地の被覆の減少、さらに冷暖房などの人工排熱の増加により、地表面の熱収支バランスが変化し、都心域の気温が郊外に比べて高くなる現象をいう。都市及びその周辺の地上気温分布において、等温線が都心部を中心として島状に市街地を取り巻いている状態により把握することができるため、ヒートアイランド(熱の島)といわれる。対策として、緑地や農地の保全、緑化の推進、道路舗装の工夫などが有効とされる。
避難行動要支援者	高齢者、障害者、乳幼児、その他特に配慮を要する者(要配慮者)のうち、災害が発生し、または災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者。
非認知能力	主に意欲・意志・情動・社会性に関わる「自分なりの目標に粘り強く取り組む力」「人と関わる力」「自分の感情や行動をコントロールする力」などの要素からなる。
フェアトレード商品	開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易の仕組み」のもと取引される商品。
プッシュ型・プル型	プル型は、対象者からの申請に基づき、サービスなどを提供する一方、プッシュ型は、対象者からの申請を待たず、行政機関などが対象者を抽出してサービスなどを提供すること。
フレイル	加齢に伴い、体力や気力が低下し食欲や活動量が低下して虚弱になっていく状態。
ほっとスクール	心理的理由などで登校できないでいる児童・生徒のための「心の居場所」として、自主性を養い、社会性を育みながら学校生活への復帰や自分らしい進路の実現に向けて気持ちを整えていくための支援を行う施設。



用語	用語解説
ま行	
マイ・タイムライン	風水害への避難に備えた行動を時間の流れに沿って、あらかじめ決めておくもの。
みどり率	緑が地表を被う部分(樹木地、草地、農地、屋上緑地)に水面と公園内の緑に被われていない部分を加えた面積が地域全体に占める割合。
木造住宅密集地域	震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域。
や行	
ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者。
ら行	
リカレント教育	学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくための社会人の学び。
リサイクル	再生利用。
リスキリング	業務上必要とされる新しい知識やスキルを学ぶこと。
リデュース	発生抑制。
リプロダクティブ・ヘルス／ライツ	国連の国際人口開発会議(カイロ1994年)で提唱され、日本語では「性と生殖に関する健康と権利」と訳される。
リユース	再使用。
緑被率	緑が地表を被う部分(樹木、草地、農地、屋上緑地)の面積が地域全体に占める割合。
レジリエンス	困難な状況をしなやかに乗り越え適応する力。
連結実質赤字比率	地方公共団体の全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの。
65歳健康寿命(要介護2)	65歳の人が必要介護認定を受けるまでの状態を健康と考え、要介護2以上の認定を受ける年齢を平均的に表したものの。
わ行	
ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活の調和。国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

世田谷区基本計画 令和6年度 ▶ 令和13年度 (2024) (2031)

令和6年(2024年)3月発行

編集・発行 世田谷区政策経営部政策企画課
〒154-8504
東京都世田谷区世田谷4-21-27
電話 03(5432)2032
FAX 03(5432)3047

広報印刷物登録番号 No. 2236

この印刷物は、再生紙を使用しています。



SETAGAYA

CITY 世田谷区
基本計画

令和6年度 2024 ▶ 令和13年度 2031